

50億1,100万円

主な事業

- ・公害対策費（雨水貯留施設等設置費補助金、環境騒音測定調査調査委託事業、ダイオキシン類大気含有量調査委託事業、地盤沈下防止対策事業等） 157
- ・じん芥処理費（資源再利用再生加工委託事業、生ごみ処理機購入費助成金等） 12,088
- ・し尿処理費（館林衛生施設組合負担金） 3,056

労働費

- ・労働諸費（勤労者生活資金預託金、労使教育委員会補助金等） 1,111

農林水産費

- ・農業委員会費（農地情報管理システム事業等） 1,383
- ・農業総務費（アメリカシロヒトリ防除事業、産業祭補助金等） 3,848
- ・農業振興費（野菜残留農薬検査事業、水田農業経営確立対策事業、流通園芸振興事業、農業近代化資金利子補給、花いっぱい運動推進事業等） 1,236

- ・農地費（利根中央用水事業償還負担金（邑楽用水路関連）小規模土地改良事業、水路整備事業、集落排水事業等） 4,975

商工費

- ・商工振興費（ISO認証取得事業奨励金、町商工会助成金、商業設備近代化資金預託金、労働環境整備資金預託金等） 1,404

土木費

- ・道路橋りょう維持費 4,893
- ・道路橋りょう新設改良費 10,959
- ・都市計画総務費（都市計画図等作製印刷製本費、館林都市圏総合交通体系調査負担金等） 11,559
- ・公園費（ふるさとの広場グランド補修事業、各公園等維持整備事業等） 1,175
- ・在宅管理費 604

消防費

- ・消防費（常備・非常備消防費負担金、消防施設費負担金【防火水槽

単位：万円
（万円未満四捨五入）

- 新設工事等】、災害対策費【防災設備の充実等】 19,084

教育費

- ・教育総務費（奨学資金貸付事業、東広圏組合負担金等） 6,181
- ・小学校費（西小学校パソコン移設事業、各学校管理整備事業、教材備品等購入等） 3,965
- ・中学校費（英語指導助手の招致事業、海外派遣事業、教材備品等購入等） 3,501
- ・幼稚園費（幼稚園運営費） 5,627
- ・社会教育費（各種学級および生涯学習推進事業、青少年育成対策事業、公民館・ふるさと産業文化館・図書館運営事業） 12,940
- ・保健体育費（各種教室および講習会の実施、社会体育館・海洋センター・学校給食センター運営事業） 19,358

公債費

- ・公債費（償還元金および支払利子等） 35,193

貸借対照表

町のバランスシート

町民一人当たりの正味資産は約125万円

このバランスシートは、総務省より平成12年3月に報告された「地方公共団体の総合的な財政分析に関する調査研究会報告書」に基づき、昭和44年度から平成15年度までの「地方財政状況調査（決算統計）」の数値等により作成しました。

これによると、借方の資産合計から貸方の負債合計を差し引いた正味資産は、約145億円で住民一人当たりの正味資産は約125万円となり、全般的に健全な財政状況といえます。

バランスシートとは

バランスシート（貸借対照表）は、民間企業が決算発表のとき用いる表で、左側の借方に資産、右側の貸方に負債と資本を記載した一覽表です。

現在の予算・決算書は、官公庁独自の形式で、単年度現金主義で構成されています。従って、1年間の入ってきたお金（歳入）と使ったお金（歳出）の出入り状態を示しているため、年度単位の財政状況は分かりません。一方、過去から累積された財産の状況を分かりやすい表にしたのがバランスシートです。

資産とは住民の今後の財産であり、行政サービスの源ともな

ります。主な資産として、現金・預金・債権・基金などや、公有の財産・公共の持ち物など、さらに、土地・道路・橋・公園などがあげられます。

負債とは、住民の今後の負担になるもの。主な負債としては、地方債・未払い金・将来に備えた引当金などがあります。

正味財産は、後世代に引き継がれる受益と、後世代が負担する債務の差額で、実質的に受け継ぐ価値のことです。

このように、現在までの資産整備の状況や、将来への負担となる債務を表し、今後の財政運営の方向性を把握するのに役立ちます。